

コロナ禍を乗り越えよう、世田谷区。

感染拡大が収まっているうち、会いたい人と、行きたい場所へ

いそだくみこ

電機メーカー勤務、衆議院議員秘書を経て2019年4月に区議に初当選。
本号では第3回定例会と決算特別委員会、日々の活動報告です。



2021. 秋冬号

特集 コロナを気にして行きそびれていませんか？ 特定健診・がん検診

● コロナ禍の影響でがん検診受診が減っている…

日本対がん協会の発表によれば、2020年のがん検診は前年比30%減。1万人以上のがんの見逃しの可能性があるという注意を促しています。世田谷区のがん検診は対象年齢の方に、特定・長寿健診の封書に同封して案内があり、区内の指定医療機関等で受診できます。下記がん検診受付センターへお問い合わせください。

【問合せ先】 世田谷区がん検診受付センター TEL:03-6265-7573

● 年に一度の健康診断もお忘れなく

企業に勤務している方は、勤務先より年に一度の定期健康診断の案内があり、フリーランスなど国民健康保険に入っている方には区から特定健診の受診をご案内しています。健診を実施する保健センターは2020年4月にリニューアルして保健医療福祉総合プラザ(うめとびあ)内に移転。快適な設備で受診できるようになりました。



▲うめとびあ1階カフェ
コーヒー(100円)ほかスイーツ、軽食も、どなたでもご利用になれます。

● 区の健診センターだから出来る！健康度チェック

特定健診ではカバーしていない食生活・ストレスチェック、体力測定なども行う「健康度測定」は世田谷区のオリジナル。会社の健診以外に、また主婦や一人暮らしの方も、楽しみながらプロのアドバイスを受けてはいかがでしょうか。



▲脚力の測定(脚伸展力)

健康度測定案内 — 計2日間、予約制

- 一次測定 尿・血液検査、胸部X線、眼底撮影、活動量・食生活・ストレスチェックなど
- 二次測定 血圧測定、体力測定5種、負荷心電図、医師による総合判定、個別アドバイスなど

- 対象/区内在住で18歳以上の方
- 料金/5,000円

《問合せ先》
保健センター 健康度測定 TEL:03-6265-7463

新型コロナウイルス、まだ油断はできません

かかったかなと思ったら……相談窓口

感染予防のため、相談はまずかかりつけ医にお電話で。相談できる医療機関が見つからないときは↓

- 世田谷区発熱相談センター (平日8:30~17:15) 03-5432-2910
- 土日休日・平日夜間の相談は 東京都発熱相談センター (24時間受付) 03-5320-4592



活動報告

第3回 オンライン区民勉強会を実施

～コロナ禍で出来る国際交流 2～

チベット地域の孤児院とリアルタイム通信～

チベット子どもサポート・KIKU代表の光菅修氏を講師に迎え、北東インドの町タワンの孤児院の様子や里親制度を紹介。実際に学校とつなぎ、案内動画を楽しみ、生徒たちと言葉を交わしました。彼らの笑顔、将来の夢など率直な受け答えがとても印象的でした。



学生インターンを迎えて

成城大学生3名のインターンを迎え、ワクチン接種状況の分析や街頭活動、区施設のフィールド調査などを行いました。



◀左から中山さん、長谷川さん、番匠さん



衆議院議員選挙

立憲民主党公認・野党統一候補落合貴之氏と手塚よしお氏を応援。候補者の強みである経済政策レポートなどを配布、両者とも当選を果たしました。コロナ対策、地球温暖化対策など国政と連携して政策立案していきたいと思えます。 豪徳寺駅にて▶



皆様のご意見、ご質問もお待ちしております。



決算特別委員会質問より(抜粋)

区民生活領域

令和元年
提案した

使い回し傘袋導入後の経過について



17の区施設のうち6施設で使い回し傘袋を採用、使い捨て・使い回し傘袋両方を置いた施設では、前年比65~98%使い捨て傘袋が減り、全体で8800枚削減の実績。衛生面に配慮しつつも、他の施設でも両方置くように促しました。

プラスチックごみ回収について

区の一人当たりごみ量が増加に転じた一方で、区のプラスチックごみ回収量は伸び悩んでいる。スーパー・小売店などでも回収をしているので、区全体の回収総量を調査し、リサイクル施設について国・都と連携して準備するよう求めました。

せたがやエコフレンドリーショップの募集促進



食品ロスの削減やプラスチックごみの削減に取り組む飲食店や小売店を認定・支援する「せたがやエコフレンドリーショップ」がまだ6店、広報活動を拡大するよう求めました。

お問合せ先：清掃・リサイクル部 03-6304-3254

福祉保健領域

区初の酸素療養ステーションのコスト適正化

8月中旬に3500人を超えたコロナ自宅療養者の対応として、区は都の補助金により酸素療養ステーション(計23床)を設置した。経費の75%は医療従事者の人件費で、給与相場の4~6倍が委託会社に支払われている。委託会社の選定を見直すなど、より適正なコストで臨時医療施設の運営を実現するよう求めました。

文教領域

せたがやデジタルミュージアムの充実

美術品や歴史資料を電子データ化し、オンライン上で検索・閲覧できるデジタルミュージアムが世界的な潮流だ。世田谷区は平成31年より設置しているが文化財・歴史資料に偏った内容であるため、他の先行事例にならい、世田谷美術館・文学館などとも連携して総合的なサイトとするよう要望しました。



例にならい、世田谷美術館・文学館などとも連携して総合的なサイトとするよう要望しました。

令和3年 第3回定例会一般質問

ワクチン接種予約の運用改善について

Q1 働く世代のために週末と夜8時までの予約枠を増やしてはどうか。また学生など若い世代が接種しやすい配慮と広報活動が必要。次回は予約の混乱が起きないように区民アンケートなどで意見聴取して3回目に備えてはどうか。

A 若い世代が集まりやすい下北沢・三軒茶屋にて「ウィークエンド夜間接種」を10月から開始する。意見聴取については手法を検討し、運用改善に生かす。

保健センターの健診の受診率向上と機能拡大について

Q2 保健センターが梅が丘に移転、リニューアルしたのにコロナ禍の影響もあってか健診受診率が大幅に下がっている。広報宣伝に努め区民の健康増進の一助とすべきでは?

A 区の広報誌掲載の他、SNSの活用、ホームページのリニューアルを行い、メディア掲載など新たな手法を検討する。

旧池尻中跡地活用について

Q3 旧池尻中校舎を活用したものづくり学校は創業支援の実績が伸びぬまま17年経過。にもかかわらず次は校庭・体育館もセットで、同じ価格で民間に貸し出す計画がある。校庭は近隣の小学校やクラブチームが使用しており、体育館は災害時の避難所や臨時医療施設に転用し得るので、現状との両立を踏まえた計画見直しが必要ではないか。



民間活用でグラウンドではなくなるかもしれない旧池尻中校庭

➡ 本計画については他の会派からも多くの問題提起があり、本年11月に提示するはずだった計画の素案を先送りし、跡地活用について再検討することとなりました。

いそだ久美子プロフィール/1966年神奈川県生まれ 県立厚木高校、早稲田大学第一文学部卒。旧姓小室。三菱電機株式会社に入社、事務系総合職として勤務。衆議院議員手塚よしお秘書に転身、2019年世田谷区議会議員選挙初当選。労働・医療政策、環境、都市計画などに取り組む。 <http://www.isokumi.com>

